

小児外科

1-1 構成員

平成29年3月31日現在

教授	0人
病院教授	0人
准教授	0人
病院准教授	0人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
病院講師	0人
助教(うち病院籍)	0人 (0人)
診療助教	0人
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	2人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	0人
その他(技術補佐員等)	0人
合 計	2人

1-2 教員の異動状況

川原央好 特任准教授(採用)(平成25年4月1日)～現職
小倉 薫 特任講師(採用)(平成26年4月1日)～現職

2 講座等が行っている研究・開発等

1	(1)研究・開発等のテーマ名	重症心身障がい児の上部消化管motility異常の解明
	(2)研究・開発等の背景、目的、内容の概略	重症心身障がい児はしばしば消化管motility異常を伴い、それによる経腸栄養障害や呼吸器症状が起こることがよく知られている。しかし、その病態については不明な点が多いため、複数のmodalityを用いて上部消化管motilityの異常について研究する。
	(3)前年度までの状況	食道インピーダンスpHモニタリングと13C呼気試験による胃排出能評価データから食道motilityと胃排出能の関連性を明らかにした。
	(4)当該年度内の進捗	全国の小児外科小児科7施設とワーキンググループを立ち上げ、食道インピーダンスpHモニタリング評価試案を作成して、第47回日本小児消化管機能研究会と第54回日本小児外科学会学術集会で発表した。
	(5)翌年度の方針と予想	作成した小児食道インピーダンスpHモニタリング評価試案を用いて、臨床データを分析するとともに学会論文発表を行う。

3 論文、症例報告、著書等

	平成28年度
(1)原著論文数(うち和文のもの)	2編 (2編)
そのインパクトファクターの合計	0.000
(2)論文形式のプロシーディングズ及びレター	0編
そのインパクトファクターの合計	0.000
(3)総説数(うち和文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.000
(4)著書数(うち和文のもの)	0編 (0編)
(5)症例報告数(うち和文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.000

(1) 原著論文

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

	筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1.	川原央好, 西川正則, 中山佳子, 小倉薫, 田附裕子, 奥山宏臣: 無症候性食道憩室, 小児外科 48, 949-953, 2016	0.000
2.	川原央好, 食道インピーダンスpHモニタリング検査の有用性. 週刊日本医事新報, 4827, 61-63, 2016	0.000

論文数(A)小計 2 うち和文 2 IF小計 0.000

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

論文数(B)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

論文数(C)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

4-1 特許等の知的財産権の取得状況

	平成28年度
特許等取得数(出願中含む)	0件

4-2 薬剤、医療機器等の実用化、認証、承認、製品化、販売等の状況

	平成28年度
実用化、認証、承認、製品化、販売数	0件

5 医学研究費取得状況

	平成28年度	
	件数	金額 (万円未満四捨五入)
(1) 科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)	1 件	120 万円
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	0 万円
(3) 日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0 件	0 万円
(4) 科学技術振興機構(JST)による研究助成	0 件	0 万円
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	0 万円
(6) 財団助成金	0 件	0 万円
(7) 受託研究または共同研究	0 件	0 万円
(8) 奨学寄附金	3 件	90 万円

(1) 科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)

1. 川原央好(代表), 基盤研究(C), 重症心身障がい児の胃食道逆流症の病因としての上部消化管 motility異常の解明, 平成26年度~平成29年度	120万円
--	-------

6 大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	(1) 国際学会	(2) 国内学会
1) 基調講演・招待講演回数	0 件	2 件
2) シンポジウム発表数	0 件	1 件
3) 学会座長回数	0 件	2 件
4) 学会開催回数	0 件	2 件
5) 学会役員等回数	0 件	6 件
6) 一般演題発表数	0 件	

(2) 国内学会の開催・参加

1) 学会における特別講演・招待講演

1. 川原央好. 食道インピーダンスpHモニタリング(MII-pH)による小児胃食道逆流(GER)評価試案. 第47回 日本小児消化管機能研究会 keynote lecture 2017年2月11日 福岡
2. 川原央好. 小児在宅経腸栄養管理の新たな展開 —エビデンスと臨床栄養管理—. 第46回日本小児外科代謝研究会基調講演 2016年10月27日

2) シンポジウム発表

1. 川原央好. 重症心身障がい児に対する噴門形成術の是非を問う是か? 非か? 非 第116回日本外科学会学術集会 デイベート 2016年4月16日
--

3) 座長をした学会名

1. 川原央好. 第53回日本小児外科学会学術集会
2. 川原央好. 第46回日本小児外科代謝研究会

4) 主催した学会名

1. 川原央好. 第46回日本小児外科代謝研究会
2. 小倉 薫. 当番世話人 第71回東海小児がん研究会(名古屋) 2017年2月11日 50人

5) 役職についている国内学会名とその役割

1. 日本小児外科学会評議委員 日本静脈経腸栄養学会学術評議員 日本小児外科漢方研究会幹事 日本小児外科代謝研究会幹事 日本小児消化管機能研究会幹事 日本小児外科学会東海北陸地方会幹事(2018年会長予定)
--

8 学術雑誌の編集への貢献

	(1)外 国	(2)国 内
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0 件	0 件

(3)国内外の英文雑誌のレフリー

1. Surgery Today 10 件 Pediatrics International 8件 JAMA Surgery 1件 World Journal of Endoscopy 1件 Digestion 1件 World Journal of Gastroenterology 1件
--

9 共同研究の実施状況

	平成28年度
(1)国際共同研究	0 件
(2)国内共同研究	0 件
(3)学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成28年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞**12 新聞, 雑誌, インターネット等による報道****13 その他の業績**